

楽踊楽座 全国行脚 記録

行脚 No.59

日時	2013年11月17日
行脚先	黒田城
住所	兵庫県西脇市黒田庄（播磨国）
行事名	

特徴

莊嚴寺本黒田家略系図によると。
観応2年(1351年)3月、赤松円心則村の弟である赤松円光の子・七郎重光が黒田城に移り、播磨黒田氏の始祖となりました。
以来、九代二百数十年にわたり黒田城主として存続しました。
八代目黒田城主・黒田下野守重隆の子、兄・治隆は家督を継いで九代目城主となりましたが、1570年頃の合戦に敗れて戦死し、播磨黒田氏は滅亡しました。
そして、弟・孝隆は、姫路城主・小寺美濃守職隆の養子となり、小寺孝隆を名乗りました。
後に小寺孝隆は黒田官兵衛と呼ばれます。
史料にはこの地が黒田官兵衛の出生地であると記されているそうです。

黒田官兵衛との関わり

莊嚴寺本黒田家略系図によると、黒田城は九代二百数十年にわたり播磨目黒田氏がおりました。
黒田官兵衛はこの地に生まれ、また父・黒田重隆が八代黒田城主であったと記されているそうです。

記録

